



2019年度 第3四半期決算説明会

対象期間: 2019.4.1-12.31

2020.2.6

明治ホールディングス株式会社

2019年度 第3四半期連結決算のハイライト



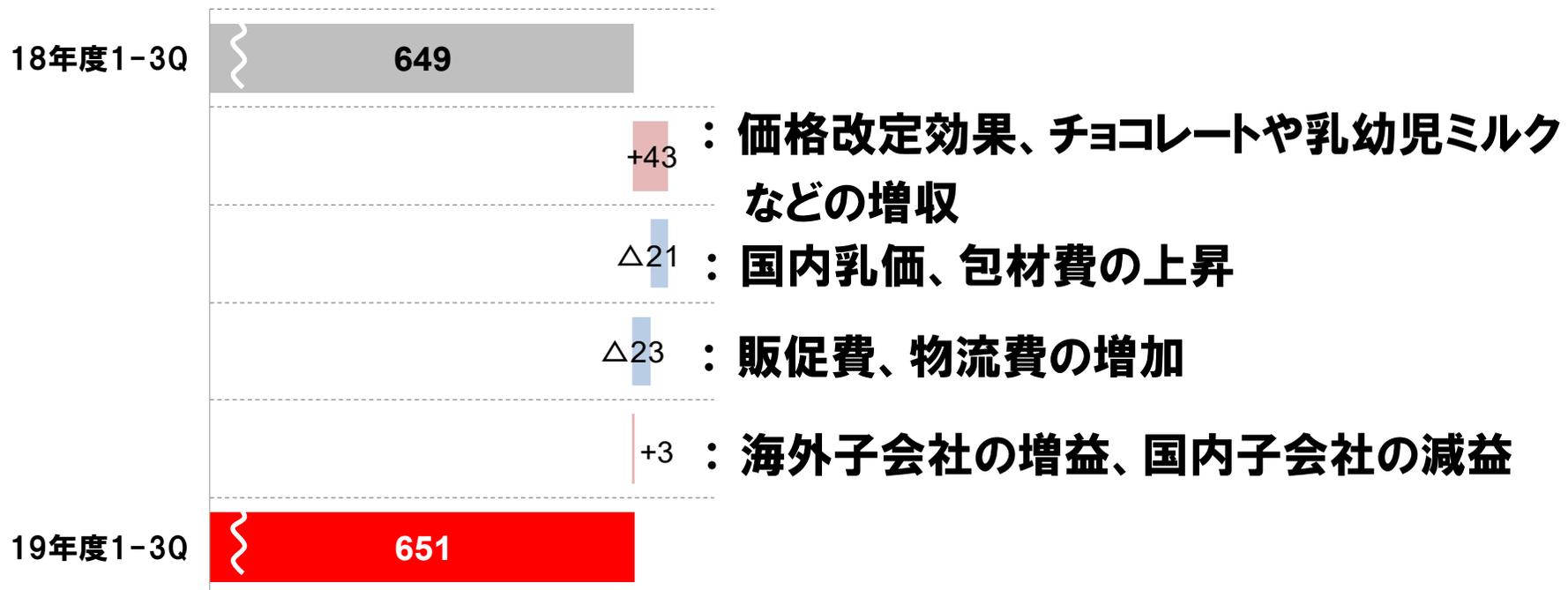
(億円)	18年度 1-3Q実績	19年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	19年度 通期計画
売上高	9,506	9,511	+0.1% +4	72.7%	13,090
営業利益	796	803	+0.9% +7	74.4%	1,080
営業利益率	8.4%	8.4%	+0.0pt	—	8.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	618	524	△15.2% △94	77.7%	675
EPS	426.80円	361.67円	△65.13円	—	465.34円

- **3Q累計実績：売上高・営業利益ともに前期並み**
 - 売上高は食品は前期並み(△0.8%)、医薬品は増収(+4.8%)
 - 営業利益は食品が前期並み(+0.3%)、医薬品は増益(+3.0%)
 - 四半期純利益は前期計上の負ののれん発生益と土地売却益の反動により大幅に減少

(億円)	18年度 1-3Q実績	19年度 1-3Q実績	前年同期比	通期計画 進捗率	19年度 通期計画
売上高	8,031	7,966	$\Delta 0.8\%$ $\Delta 65$	73.1%	10,900
営業利益	649	651	$+0.3\%$ $+2$	72.4%	900

営業利益増減分析

(億円)



(億円)	18年度 1-3Q実績	19年度 1-3Q実績	前年同期 増減率	通期計画 進捗率	19年度 通期計画
ヨーグルト	651	637	△2.2%	70.3%	906
明治ブルガリアヨーグルト	606	582	△3.9%	73.9%	788
プロバイオティクスヨーグルト	810	774	△4.5%	67.8%	1,142
牛乳類	829	871	+5.0%	83.1%	1,048
明治おいしい牛乳	435	443	+1.8%	77.1%	574
チーズ	281	288	+2.5%	77.2%	373
明治北海道十勝チーズ	105	112	+7.2%	73.6%	153
アイスクリーム	372	366	△1.8%	81.4%	449
チョコレート	672	704	+4.8%	67.6%	1,041
栄養食品	440	459	+4.3%	82.3%	558
スポーツ栄養	160	164	+2.7%	78.2%	210

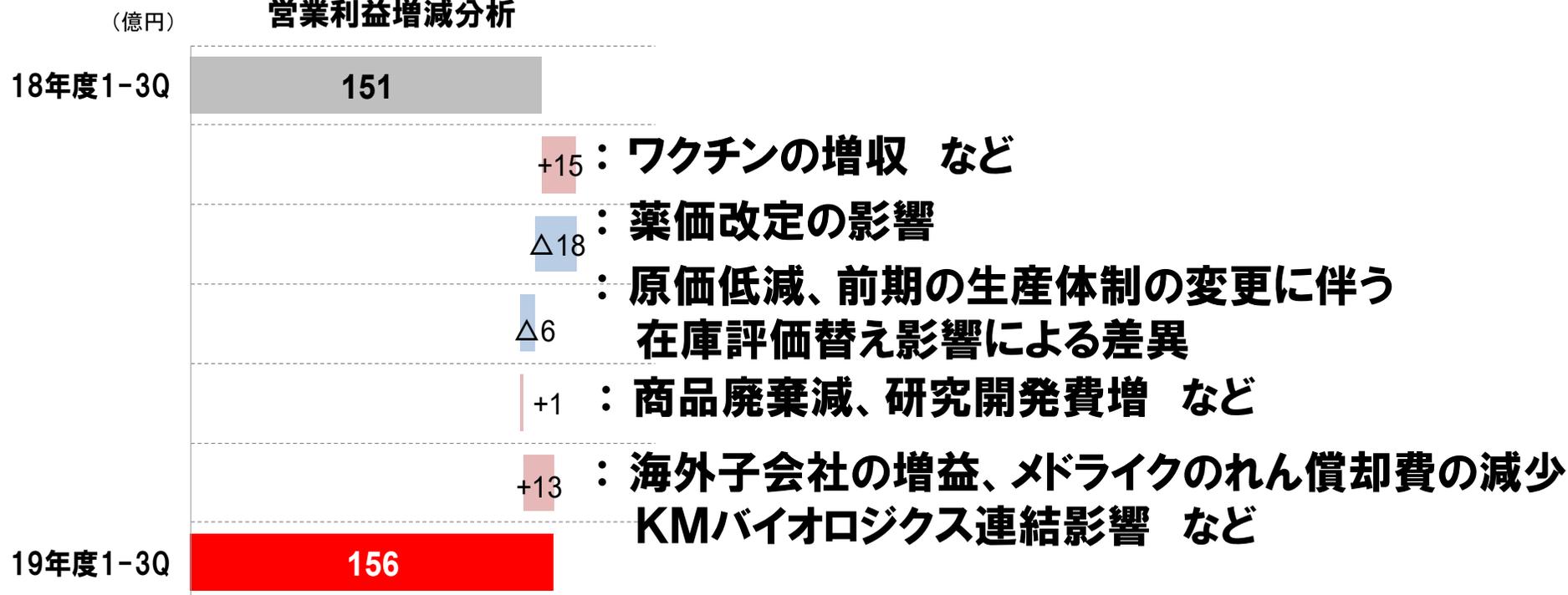
- ヨーグルトはマイナス幅縮小、プロバイオはトレンド大きく回復せず
- 牛乳類は好調を維持、「ザバスミルクプロテイン」が大幅伸長(+139%)
- チーズは「北海道十勝カマンベールチーズ」を中心に伸長
- チョコレートは伸び率縮小、栄養食品(乳幼児ミルク・流動食)は好調維持

(億円)	食品全体	発酵 デイリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内子会社	全社 共通費	
18年度3Q 営業利益	649	341	70	148	113	10	34	△69	
前年 増減額	売上増減	+43	+8	+17	+3	+16	△1	—	0
	原価の変動	△21	△14	△3	△1	△3	+1	—	0
	経費等の増減	△23	△12	△9	△5	+8	△2	—	△4
	その他 (子会社損益など)	+3	△2	+0	△0	+1	+5	△4	+4
19年度3Q 営業利益	651	321	75	145	136	12	29	△69	

- 発酵デイリー：プロバイオおよびヨーグルトの数量減を価格改定でカバー、国内乳価上昇や販促費の増加などにより減益
- 加工食品：原価および販促費が増加したが価格改定により増益
- 菓子：物流費や販促費などの増加により減益
- 栄養：乳幼児ミルクや「ザバス」の増収、販促費の減少により増益

(億円)	18年度 1-3Q実績	19年度 1-3Q実績	19年度		19年度 通期計画
			前年同期比	通期計画 進捗率	
売上高	1,482	1,554	+4.8% +71	70.5%	2,205
営業利益	151	156	+3.0% +4	84.4%	185

営業利益増減分析



(億円)	18年度 1-3Q実績	19年度 1-3Q実績	前年同期 増減率	通期計画 進捗率	19年度 通期計画
国内医療用医薬品(Meiji Seika ファルマ単体実績)					
シクレスト	28	32	+15.4%	41.8%	77
ピラノア	28	38	+32.7%	42.5%	90
リフレックス(GE含む)	—	67	△55.0%	54.9%	123
メイアクト(GE含む)	—	41	△14.0%	72.4%	57
タゾピペ	40	67	+67.6%	116.7%	58
インフルエンザHAワクチン	—	151	+254.5%	105.8%	143
KMバイオロジクス(単体実績)					
ヒト用ワクチン計	178	192	+7.4%	68.0%	282
血漿分画製剤計	36	59	+63.4%	87.7%	68

- アレルギー性疾患治療薬「ピラノア」は好調に推移、4Qで更なる拡売
- 抗うつ薬「リフレックス」は特許切れの影響により大きく減収も3Qまでで一巡
- 抗菌薬「タゾピペ」は抗菌薬不足で伸長、インフルエンザワクチンも増収
- ワクチンおよび血漿分画製剤の販売移管は順調

2019年度 連結業績予想



(億円)	18年度 通期実績	19年度 通期計画	前年同期比
売上高	12,543	13,090	+4.4% +546
営業利益	983	1,080	+9.8% +96
営業利益率	7.8%	8.3%	+0.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	618	675	+9.1% +56
EPS	426.61円	465.34円	+38.73円
1株当たり配当金	140円	140円	—
配当性向	32.8%	30.1%	Δ2.7pt
ROE	12.2%	12.3%	+0.1pt
設備投資額	712	991	+39.2% +279
営業CF	1,121	1,079	Δ42
フリーCF	118	84	Δ34

● 業績予想：修正なし

1. 付加価値商品の展開

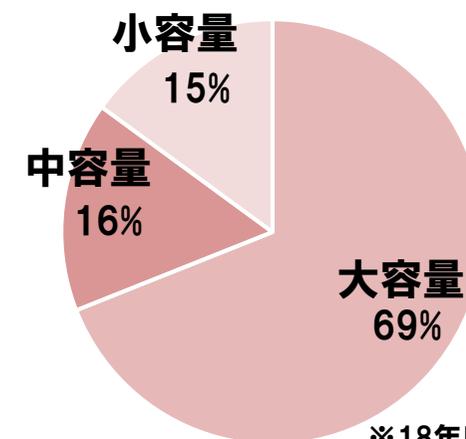
- ・ 世界初製法の乳原料を使用した「明治おいしいミルクカルシウム」を全国展開(2019年9月)
- ・ 「明治おいしい牛乳450ml」を中四国・九州で先行発売(2020年1月)
⇒秋までに全国展開



2. 生産体制の最適化

- ・ 北陸工場閉場(2019年9月)
- ・ 岡山工場閉場(2020年3月)
- ・ ゲーブルラインは順次撤去

おいしい牛乳容量別構成比



※18年度実績ベース

トピックス②：血液がんの取り組み

国内医療用医薬品事業		
取り組み領域	コア	感染症・ワクチン
		ジェネリック医薬品(自社販売・CMO/CDMO)
		バイオ医薬品
		中枢神経系
	成長	免疫・炎症領域
		血液がん

- 「血液がん」は成長領域に位置づけ
- 血液内科は、感染症治療薬の最大処方診療科
- 緩和ケアで中枢神経系の薬剤との親和性も高い

<新規契約品目>

	がん治療薬「HBI-8000」	慢性GVHD治療薬「KD025」
	腫瘍細胞の増殖抑制、免疫調節作用	血液がん治療のひとつである造血幹細胞移植後に発症する合併症(ドナー由来リンパ球が患者の正常臓器を異物と見直して攻撃)の治療
契約内容	日本・アジアにおける独占販売・ライセンス契約	日本・アジアにおける開発および商業化のために設立した合同会社への出資
契約先	HUYA Bioscience社(米国)	Kadmon社(米国)
開発段階	成人T細胞白血病・リンパ腫(申請準備中) 末梢性T細胞リンパ腫(Phase2、オーファン指定)	米国でPhase3、FDAのBreakthrough Therapy Designation認定取得(優先審査)
承認時期	2021年の見込み	未定

参考資料

2019年度 第3四半期連結財政状態

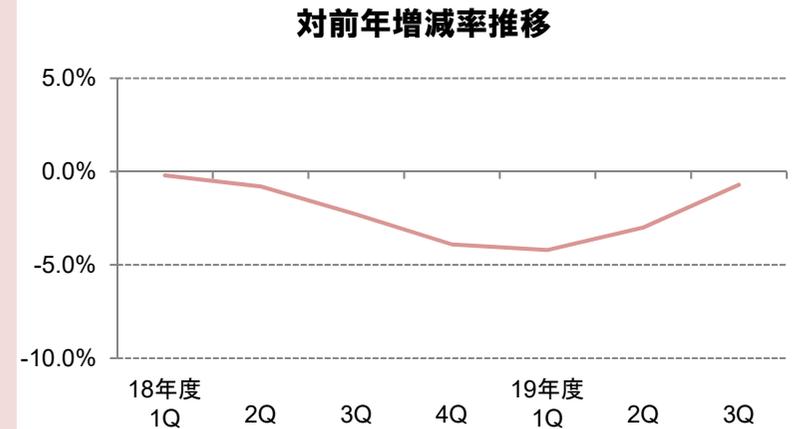
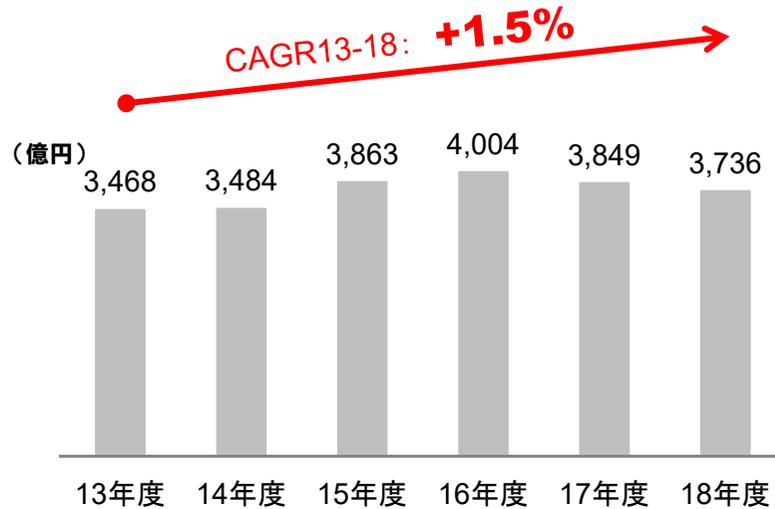


(億円)	19年12月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	4,421	+4.9% +207	・受取手形及び売掛金(+176) ・現金及び預金(+45) ・貸倒引当金(△11)
固定資産	5,926	+1.7% +99	・建物及び構築物(+169) ・機械装置及び運搬具(+25) ・建設仮勘定(△87)
資産合計	10,347	+3.0% +306	—
流動負債	2,959	+1.5% +44	・コマーシャル・ペーパー(+130) ・短期借入金(+100) ・未払法人税等(△134) ・賞与引当金(△59)
固定負債	1,469	△3.3% △50	・長期借入金(△57)
負債合計	4,428	△0.1% △6	—
株主資本	5,388	+6.2% +312	・利益剰余金(+309)
その他の包括利益 累計額	182	△7.4% △14	・為替換算調整勘定(△25) ・退職給付に係る調整累計額(+16)
非支配株主持分	348	+4.5% +14	—
純資産合計	5,918	+5.6% +312	—
有利子負債	1,336	+14.9% +172	・コマーシャル・ペーパー(+130) ・短期借入金(+100) ・長期借入金(△57)
自己資本比率	53.8%	+1.3pt	—

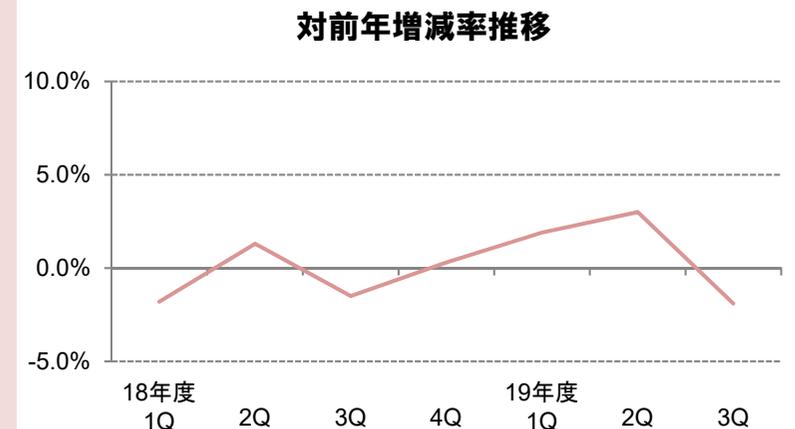
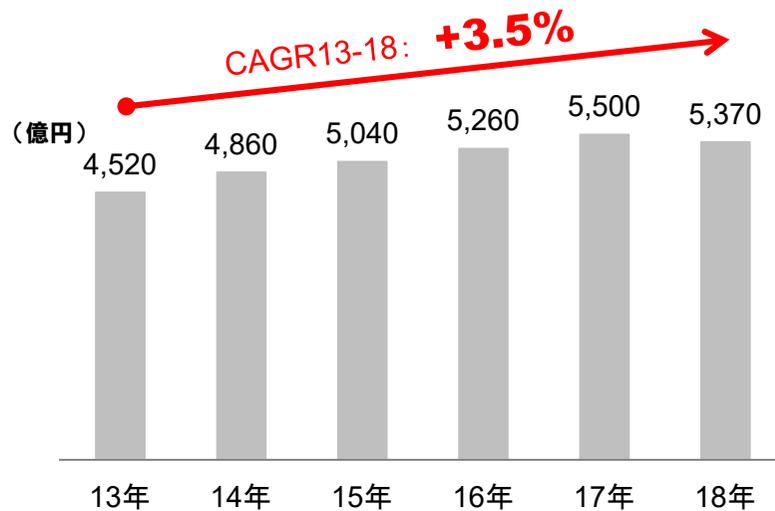
ヨーグルト・チョコレート市場の動向



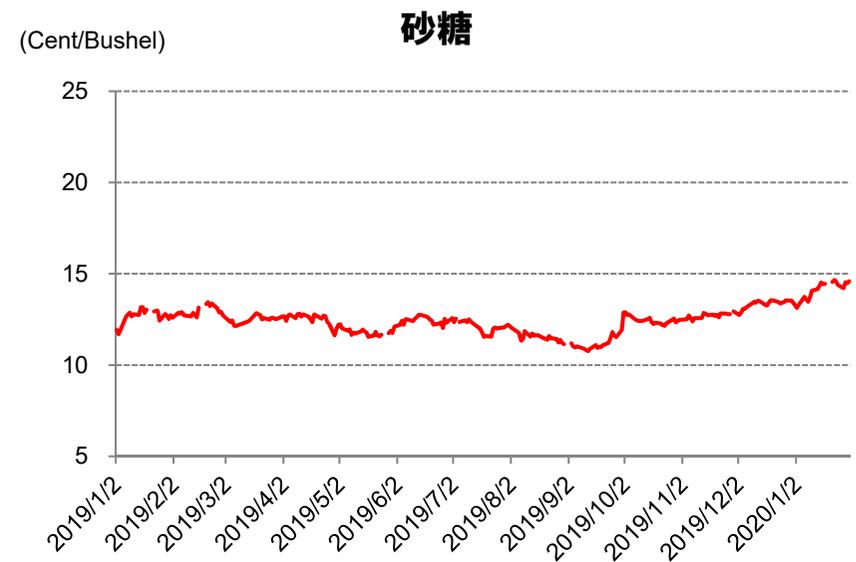
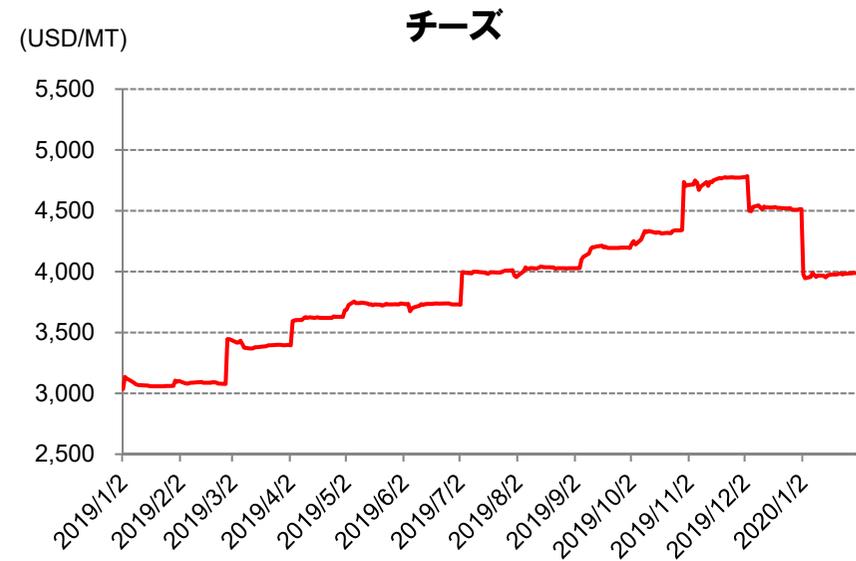
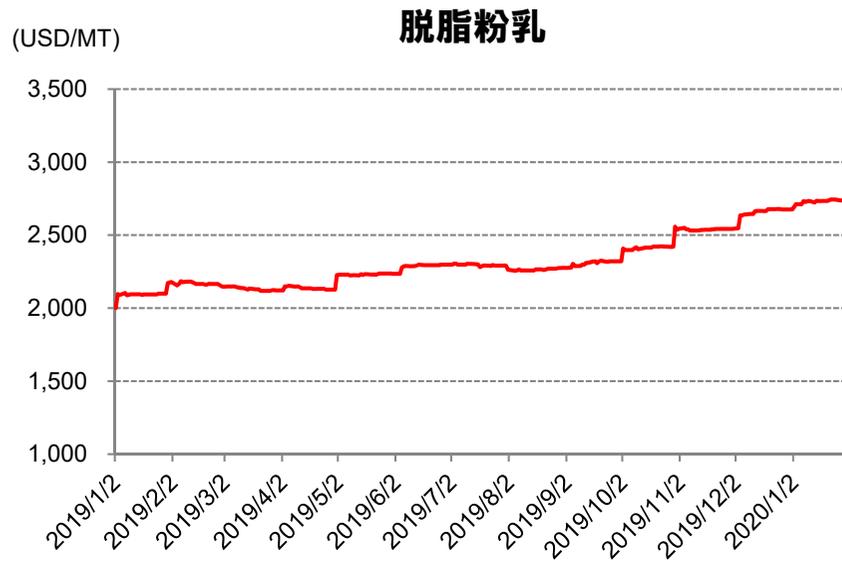
ヨーグルト



チョコレート



主要輸入原料相場の動向



meiji

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料には、薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。